

政策名	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち
施策名	2 林業の振興

主担当課	農林振興課
関係課	

1. 施策の現状と課題

森林は、木材生産機能とともに、水源のかん養、国土や自然環境の保全、地球温暖化の防止、レクリエーション機能など、多面的な機能を持っており、安全で快適な生活環境の確保に重要な役割を果たしています。

平成22年度の東温市森林整備計画では、現在本市の森林面積は16,112haで、総面積の76%を占めています。スギ、ヒノキ等の人工林面積は9,787ha、人工林率は61.0%で、10・11齢級（46年生から55年生）の森林の割合が最も多く、間伐など適切な保育が必要な状況にあります。

しかし、木材価格の低迷による林業の採算性悪化により、森林所有者の林業への意欲が急速に減退し、林業従事者の減少、高齢化等から適切な保育が行われず放置された森林が増加し、森林の持つ多面的機能の低下が危惧されています。

特に、地球温暖化の防止や水源のかん養等の機能への要請が大きくなっている中で、森林を適正に管理し、その機能を最大限に発揮させる取り組みを進めることが急務となっており、市民や森林所有者に森林の機能や整備の啓発を進めるとともに、森林組合を核とした合理的、効果的な森林整備を推進する必要があります。

2. 施策の基本方針

林業生産活動の活性化と、森林の持つ多面的機能の永続的発揮に向け、合理的、効果的な森林施業の促進と森林の総合的利活用に努めます。

3. 施策の内容(主要施策名)

(1) 計画的な森林整備の推進	①森林施業の効率化、森林の持つ多面的機能の高度発揮、山間部地域の活性化に向け、関係機関との連携のもと、林道網の整備を進めます。 ②森林所有者の合意形成を図りながら、森林組合を中心とした森林施業の団地化を促進し、共通の認識と目標のもとに合理的な森林整備が行える体制を確立し、計画的な森林施業を促進します。 ③林業事業者の中核となる森林組合の体質強化を支援していくほか、森林組合や関係機関・団体との連携のもと、林業後継者や林業技術者、森林ボランティアの確保・育成に努めます。 ④イノシシやサルなどの有害鳥獣による農林作物の被害を防止するため、関係機関・団体との連携のもと、駆除・防除対策を推進します。
(2) 森林の保全・育成と総合的利活用	①森林に対する市民の理解を深めながら、市民との協働体制の確立のもと、森林・里山の保全及び育成を進めます。 ②緑豊かな生活や余暇環境を保全・創造する森林の造成に向け、多様な樹種・林層からなる森林の育成を図ります。 ③森林の持つ多面的機能の持続的発揮、環境保全と一体となった森林経営に向け、環境教育やレクリエーション、いこいの場としての活用、バイオマスタウン構想に基づく間伐材や木くずなどのバイオマスの利活用など、森林の総合的利活用に努めます。

4. 成果指標及び中間目標年度(H22年度)までの達成度

指標名 [指標の把握方法]	単位		H18年度(初期値)	H22年度(中間値)	H27年度(最終値)	中間目標年度(H22年度)までの達成度
林道整備率 [市の1ha当りの林道延長/県の目標]	%	目標値	51	51	↗	中間目標値を達成しています。道路舗装や作業道の開設は実施しているものの、新たな林道整備には至っていません。地域森林計画に基づき、費用対効果を踏まえた検討が必要です。
		実績値	51	51	—	
森林の間伐整備面積(累積) [H14年度からの森林の間伐整備面積(造林事業、治山事業等)]	ha	目標値	1,174	1,600	2,600	中間目標値を大きく上回っています。引き続き間伐促進を図ります。
		実績値	1,174	1,906	—	
森林ボランティアの活動人数 [年間の森林ボランティアの活動人数]	人	目標値	425	500	600	中間目標値を下回っています。引き続き森林ボランティアの確保・育成に努めます。
		実績値	425	450	—	
森林施業団地の設定数(累計) [森林施業団地の設定数]	団地	目標値	0	4	↗	中間目標値下回っています。今後も引き続き、団地の活用を推進します。
		実績値	0	3	—	
木質バイオマス利活用件数(累計) [ペレットストーブ等の導入件数・ペレットボイラーの設置件数]	件	目標値	3	10	↗	中間目標値を下回っていますが、引き続き各種制度を活用した導入の推進に努めます。
		実績値	3	7	—	

5. 評価結果(今後の方針、指摘事項)

総括と今後の取組方針(部・課の方針)	総合計画策定委員会委員長指摘事項	市長指摘事項
林業生産活動の活性化と、森林の持つ多面的機能の永続的発揮に向け、合理的、効果的な森林施業の促進と森林の総合的利活用に努めます。 (1) 計画的な森林整備の推進 ①森林施業の効率化、森林の持つ多面的機能の高度発揮、山間部地域の活性化に向け、関係機関との連携のもと、林道網の整備を進めます。 ②森林所有者の合意形成を図りながら、森林組合を中心とした森林施業の共同化や受委託を促進し、共通の認識と目標のもとに合理的な森林整備が行える体制を確立し、計画的な森林施業を促進します。 ③林業事業者の中核となる森林組合の体質強化を支援していくほか、森林組合や関係機関・団体との連携のもと、市民をはじめ、林業後継者や林業技術者、NPO法人、小中学生、森林・林業活性化センター等による森林ボランティアの確保・育成を目的に、講演会の開催及び間伐や枝打ち作業の実習を行います。 ④イノシシやサルなどの有害鳥獣による農林作物の被害を防止するため、関係機関・団体との連携のもと、駆除・防除対策を推進します。 (2) 森林の保全・育成と総合的利活用 ①森林に対する市民の理解を深めながら、市民との協働体制の確立のもと、森林・里山の保全及び育成を進めます。 ②緑豊かな生活や余暇環境を保全・創造する森林の造成に向け、多様な樹種・林層からなる森林の育成を図ります。 ③森林の持つ多面的機能の持続的発揮、環境保全と一体となった森林経営に向け、環境教育やレクリエーション、いこいの場としての活用、バイオマスタウン構想に基づく間伐材や木くずなどのバイオマスの利活用など、森林の総合的利活用に努めます。	森林ボランティアの活用について配慮してください。	有害鳥獣対策について、関係機関・団体等と連携強化を行い、被害が最小限となるように、効果的で効率的な対策を講じてください。

6. 施策実現のための事務事業評価結果

番号		事務事業名	事業費(直接+人件費)千円		課名	総合評価		今後の方向性	
課	事務事業		平成22年度	平成23年度		一次	二次	一次	二次
013	1064	林道整備(改良・維持管理)事業	7,076	8,129	農林振興課	A	A	現状維持	拡大・充実
013	1071	市単独林道改良事業補助金事務	12,163	12,122	農林振興課	A	A	現状維持	拡大・充実
013	1077	森林環境保全整備事業	17,001	32,514	農林振興課	A	A	現状維持	拡大・充実
013	2018	森林病虫害等防除事業	827	965	農林振興課	A	A	現状維持	拡大・充実
013	2021	被害木防災対策事業	818	900	農林振興課	A	A	現状維持	拡大・充実
013	2022	森林ボランティア事業	587	775	農林振興課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
013	2025	有害鳥獣捕獲事業	5,559	7,048	農林振興課	A	A	現状維持	拡大・充実
合計			44,031	62,453					